

《発展・持続可能なまちづくりに向けて》

第3次安曇野市行財政改革大綱策定について

答 申 書 [資料編]

1、第2次大綱の取組検証から

(1) 市民との協働体制推進

ア 市民との協働は、今後の行政運営において最も重要な課題であります。区への未加入者の増加等様々な課題に積極的な取組みを進めていただきたい。

イ ホームページは市の顔となるものであり、新システムの導入により一定の成果があったものとするが、更新等がされていないページが散見されます。管理を一元化し、常に最新の情報を提供していくことが必要であります。

ウ 市附属機関についても一元管理によって、不要或いは重複する委員会等は廃止・統合していくことが望ましい。

また、市民意見を反映するために委員を公募していくことは良いが、年度初めに公募する委員の一覧等を示し、市民が選択できるような措置を講じる必要があります。

(2) 本庁機能と総合支所機能の見直しと組織体制の確立

ア 来年5月新本庁舎での業務が開始されますが、多様化する市民ニーズや地方分権、人口減少・超高齢化社会等への的確に対応する組織となるよう常に見直しを行っていく必要があります。

(3) 業務の効率化

ア 行政評価の活用については、導入から運用まで一定の成果があったものと考えますが、手法等の見直しを進めながら引き続き実施していく事項であると考えます。

イ 指定管理者制度の導入等により、一定の業務についてアウトソーシングの推進が図られてきました。今後も業務の外部化等について検討を行っていくとともに、既にアウトソーシングした業務については、経費の節減及び市民サービスの向上が図られているか検証を行っていく必要があります。

(4) 公的施設の効果的利用

ア 高度経済成長期に建設された公共施設の建て替え等が集中する時期を迎えることにより、財政を圧迫することが懸念されます。現在検討を進めている公共施設再配置計画を早期に策定し、人口減少、超高齢化社会の到来を見据える中で、適正な公共施設の配置を進めるとともに、受益と負担の適正化を図っていく必要があります。

## (5) 健全な財政基盤の確立

- ア 新本庁舎での業務開始及び支所の建替えが今後進められますが、環境保全計画はこれまでの実績を踏まえながら新たな目標設定が必要となります。
- イ 健全財政を維持していくために、目標指数を設定し今後も取組を進めていく必要があります。
- ウ 税の収納率向上については、公平性の観点から徴収経費が嵩むことはやむを得ないこともあると考えますが、一方で徴収に係るコスト意識を持ちながら、効率的な徴収に努める必要があります。
- エ 電子入札の導入、建築工事における積算基準統一等により一定の成果があったものと考えます。しかし、最近では入札の不落等による工期の遅れ等により、市民サービスの提供に遅れが生じることが懸念されることから、現在の入札制度を検証するとともに市場単価等を早期かつ的確に設計に反映できるシステムの検討が必要と考えます。また、地元の業者を育てる施策が必要となります。
- オ 合併時から業務の見直しやアウトソーシングにより一定の職員削減が図られてきました。新本庁舎での業務が開始され、本庁と支所の業務が明確になったことにより、これまでのような職員の削減は難しいと考えますが、更なる業務の効率化と職員のレベルアップが求められています。

また、職員の意識改革やモチベーションの向上を図るため、人材育成と人事評価制度をセットで行っていく必要があります。

## 2、今後の行財政改革推進のための戦略

### (1) 行政運営

- ア 計画は策定で終了ではなく実践していかなければ意味がありません。実践していくにあたって、達成目標数値と達成期日を明確化すると共に、マイルストーン（目標完了の計画日時）を設け定期的な管理を実施し、確実な達成を図っていくことが必要であります。
- イ PDCA サイクルは「短い期間」で「何回も（毎年）」回すことが重要であります。
- ウ 女性の繊細な考え方を取り入れ、若者の夢の実現に向けた取組が必要で。
- エ 平成 28 年度から開始されるマイナンバー制度を上手に利用し、市民サービスの向上につなげる施策が必要と考えます。
- オ リーダーシップをもって進める事業と市民の意見をしっかりと聞く事業に仕分けをする必要があると考えます。
- カ 地元業者の育成を図る施策の実施が必要です。
- キ 安曇野市の魅力を維持しながら、発展するために土地利用制度の見直しが必要です。
- ク 市が抱える多くの資産（インフラ）の整備が必要な時期に来ています。通常の維持管理にとどまらず、寿命を延ばす対策が必要となります。
- ケ 不要な施設については、スクラップを検討する必要があります。
- コ 膨大な行政情報を守るため、関連施設を含めてバックアップ体制が必要とな

ります。(業務継続計画の策定)

サ 防災マップに雪害対策を含める必要があります。

シ 地震に対するリスク対策をする必要があります。

ス 国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計では、本市の人口が2040年に約78,000人になるとしています。平成27年度国勢調査結果を注視し分析する必要があります。

## (2) 財源

ア 入りを量りて出を制する。「出を制する」は効率化であり、限られた資源を有効に活用し、「入りを量りて」は、人を増やす、企業、法人等の法人・個人を増やす必要があります。

イ 自助努力による財源確保を目標にすべきと考えます。

## (3) 人口減対策

ア 空き家バンクの活用により、若い人が住みたくなるような具体的な施策が必要となります。

イ 不妊治療対策が人口増加策には重要となります。

ウ 出生率を上げ、若い人を呼び込むためには、ソフト産業の誘致が良いと思われます。

エ 地域間競争の観点から、いかにユニークな戦略を立てるかが重要であり、市の資源・文化・人的資源から検討が必要となります。

オ 若者向けの空き家のリニューアル、遊休農地の提供と、それぞれを支える体制の整備が必要となります。

カ 専門の職員を置く必要があります。

キ 企業誘致を進めると共に、現在検討が進められている移住・定住促進計画に基づき様々な観点から検討し、税収面の確保を図るべきと考えます。

## (4) 協働

ア 公民館と区が一体となっていないことから、本当に住民自らが参加できるような取り組みが必要です。

イ 市民サービスの捉え方を検討し、市民の自立・自活といったところに目標をおく必要があります。

ウ 区への未加入世帯の対応が必要です。ごみ問題・除雪・自主防災組織等何らかのかたちで市と接点を持つ必要があります。

エ 市民の意見を聞いてもらえるポジションや、フォームといった仕組みが必要と考えます。

オ 不動産業者や建設業者等は、住宅等を開発した際に、購入者(アパートへの入居者等)に対して、区への加入を進める検討を行う必要があります。

## (5) 環境マネジメント

ア 環境に対して市がイニシアチブをとり、取組みを進める必要があります。

イ エコアクション21等の導入にPDCAを回しながら成果をだしていく必要があります。

(エコアクション21：全ての事業者が、環境への取組みを効果的、効率的に行うことを目的に、環境に取り組む仕組みを作り、取組みを行い、それらを継続的に改善し、その結果を社会に公表するための方法について、環境省が策定したガイドライン)

## (6) 情報

ア 市のホームページ全体を管理する部署を明確にする必要があります。

イ 国の情報セキュリティ協議会の仕組みを参考に、情報セキュリティを強化する必要があります。

ウ 情報セキュリティーについて、ISO27001に準拠した運用が必要であります。

(ISO27001：情報資産を様々な脅威から守り、リスクを軽減させるための総合的な情報セキュリティー・マネジメントシステム。2005年10月にISMS認証基準として国際規格ISO/IEC 27001：2005が発行され、国内規格JIS Q 27001：2006が発行、その後2013年10月にISO/IEC 27001：2013が発行され、これに伴い、現在のISMS認証基準はJIS Q 27001：2014となっている。)

エ IT技術を使った情報格差の解消により、効率の良い市政を行っていく必要があります。

オ 情報格差が生じないように、長期的にどのような媒体を使って広報活動を行っていくか検討が必要であります。

カ 情報先進地のイメージをもたれるような施策を行う必要があります。e-安曇野構想のようなIT技術を利用することは、少子化対策につながると考えます。

キ 安曇野の自然を積極的にPRしていく。ライブ映像も効果的に利用することも検討すべきであります。

## (7) 職員

ア 目標の連鎖として考えた時に、個々の職員が、どのような部の目標に向かって動いているかが見えてこないと思います。人材育成も含め、目標が見えないことにより不満を払拭する必要があります。

イ 地域のために自分の能力をどこまで発揮できるかが重要であり、その能力をリーダーがいかにリードできるかが大事であります。

ウ 遵法に関しては、遵法管理の仕組みと教育の充実を図るとともに、内部・外部の監査を実施し、問題の発生を皆無を目指す必要があります。

エ 「些細なことを守れるか」が全体のレベルの健全化を図る重要な要素であり、有意注意の意識を守っていくことの徹底が必要となります。

オ 優良企業や先進地自治体に職員を派遣する等により、職員の意識改革を推進することが重要と考えます。